

令和5年度 横浜市立中学校教育研究会 養護教諭部会 研究部発表会

- 1 日 時 令和6年1月24日(水) 15時～17時
- 2 会 場 神奈川公会堂
- 3 内 容 「保健教育」「健康課題」「健康実態」の調査結果及び新たな取り組みについて、中学校養護教諭部会の幹事(区代表)がまとめ、発表しました。

【保健教育】 発表者 永田中学校 中瀬万由子先生

令和2年度から保健教育の実践につながるような活動を目指してはじめた「とりくみ交流」を行ってきた。今年度は、学校保健委員会の実践をテーマに研究を行い、「学校保健委員会の実践」「ICT活用」「アンケート」「テーマ設定の工夫」「事前準備、開催後の工夫」の観点でまとめて報告した。

「学校保健委員会の実践」について、テーマとしては「食・心・睡眠」が多く、開催方法や講師など各校の創意工夫が感じられた。「ICT活用」について、chromebook、iPad、みらいスクールステーション、2in1等を用途ごとに使い分けていることが分かった。「アンケート」について、健康実態の把握、テーマ設定のためのアンケートをとっている学校が多いことがわかった。

「テーマ設定」「事前準備、開催後の工夫」について、各校で様々な工夫をしながら取り組まれている様子うかがえた。

各区からの情報をまとめる中で、各校の工夫とともに熱意を感じ、コロナ禍でも教育活動止めず、様々な工夫を凝らし、新たな形態や方法が生み出された努力を感じ取ることができた。

是非、参考にして自校の保健教育に活かしていきたい。



【課題検討】 発表者 松本中学校 吉山芽生先生

「不登校・保健室登校」改め、「課題検討委員会」の、令和6年度からの取組について説明が行われた。ここで言う「課題」を、日々の保健室経営から捉えている子どもたちの健康課題とし、その解決に向けたより良いアプローチを推進していくための研究を行うこととした。

研究方法として、①子どもたちの健康課題の調査(ワードクラウド)を行い、課題を吸い上げる。②課題について研修会の企画・運営を行う。③研修後の変容を共有する。

令和6年度は、今年度、プレアンケートを取った結果をワードクラウドで可視化し、クローズアップされた課題について検討し、研修会を企画していく予定である。私たち養護教諭は、その研修等を通し、保健室で行う支援のスキルアップや、校内及び関係機関との連携等、チーム学校の中での養護

教諭の役割について学び、各校での実践を推進し、子どもたちの健康課題の解決により良いアプローチにつなげていきたい。

【生徒健康実態調査】 発表者 万騎が原中学校 及川玲菜先生 奈良中学校 渡辺由香先生
舞岡中学校 佐々木よう子先生 原中学校 西川菜乃子先生

本調査の目的は、「子どもたちの健康実態を継続して把握することにより、横浜市全体の動向や健康実態の変化を把握する」「生徒健康実態調査の結果を各校における生徒の保健管理・保健指導の推進に役立てる」である。調査方法も新たにシステム化して回答する側の負担も軽減されるよう改善をしながら進めていく。

今年度は、調査項目の見直し等も行われたこともあり、1年生のみの調査となり、年次推移ではなく一部項目（肥満・るいそう、視力、むし歯、）について可能な範囲での年次推移をグラフにまとめた。そして、栄養（肥満・るいそう）について、「市と自校」「市・区・自校」の比較するグラフを作成する活用例の紹介や、食をテーマにした学校保健委員会での活用例、職員と情報を共有する活用例、保健だよりでの活用例、視力検査結果の活用例、職員会議での提案資料作成例、歯科検診結果の活用例、起立性調節障害についてのデータ活用実践例、食物アレルギーデータ活用例の紹介を行った。

今後も、本調査のデータを活用し、保健室からの「思い」に加えて、客観的かつ説得力のあるものとなるように、「自分たちが使えるデータ」とするために、今後も活用していくことが大切だと感じている。

【講評】 健康教育・食育課指導主事 中澤千恵様

○保健教育の発表については、各校の学校保健委員会の実践から、食・心・睡眠と項目別にまとめ、「知りたい」についてさらに細かく資料が紹介されていて参考になった。また、参考にしやすい内容にまとめられていて即実践につながると思う。各区での共有と各校での活発な実践へつなげてほしい。

○課題検討について、何を課題と考えるかは様々であるが多くの人の意見が反映されている。それを研修につなげていこうとすることは素晴らしい。これが校内連携につながると良い。

○生徒健康実態調査の発表について、生徒指導提要にも、養護教諭がチーム学校のメンバーとして他教職員と連携をしながら生徒の支援にあたることが記されている。調査結果を校内での保健管理・教育に活用できるエビデンスとして使用しやすい内容であり素晴らしい。各校のデータ活用を積極的に使用してほしい。学校経営計画にも使用できると思う。

